

2015年7月13日

第1331号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & F A X

350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

市内整備見通し立たず 浦安市内に早急に設置を!

特別支援 学校

帰宅困難者が多かった東日本大震災、児童生徒の保護者から「子どもを市内の学校に通学させたい」「特別支援学校の高等部を浦安市内に整備して欲しい」という要望が、更に高まりました。昨年実施した市議団アンケートや4月の市議選でも要望いだき6月議会で一般質問いたしました。

県立養護学校についての 意見書の可決から10年

2005年3月の浦安市議会にて、日本共産党の発議提案「浦安市に県立養護学校の分校の設置を求める意見書」が可決されています。

2007年4月に特別支援学校として学校教育法に位置付けられてからも、浦安市は、設置を強く求め続けていますが、いまだ実現していません。

浦安の特別支援教育は、市内の小中学校の通常学級や特別支援学級を希望する保護者が多いのが特徴です。

通学困難の解消を

しかし、市内に高等部が無いため、中学卒業後は、主に県立市川特別支援学校へ通学しています。日本共産党は送迎バスについても増便を何度も求め実現してきましたが、バス停などの要望があります。

船橋特別支援学校や流山特別支援学校、千葉大附属・筑波大附属の特別支援学校など遠方に通学している生徒もいます。

過密化深刻な問題

県はこれまで、特別支援学校で

普通教室が足りなくなると、音楽室や図書室などの特別教室等を転用してきました。また、本来は1学級で使用する普通教室を2学級合同で使用するなどしてきたため、教育活動に支障がでるなど深刻な状況が生まれています。

新人国会議員が現状告発

昨年12月に初当選した日本共産党の斉藤和子衆議院議員は今年3月、初質問の予算委員会にて「特別支援」学校の教室不足問題を取り上げ、下村博文文科科学大臣が、自ら現地視察に行くと表明し、必要な財政支援に努めていくと答弁しています。

市川特別支援学校へも7月中旬に視察の予定であることが日本共産党の調査でわかりました。

県の整備計画に 浦安市内への整備計画を

2011年度から2015年度を計画年度とする県立特別支援学校整備計画では、市内への整備は計画されていません。

次の整備計画の策定を見据え、市は前年度も県へ要望書を提出し、今年度も要望することが6月議会で明らかになりました。

日本共産党は、県に対して市内整備を求める申ししれを予定しています。